栗駒山の火山活動解説資料（平成 30 年８月）

仙 台 管 区 気 象 台
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図１～図７）

大柳及び展望岩頭に設置している監視カメラによる観測では、噴気は認められませんでした。

３日に実施した現地調査では、前回（2018 年５月 15 日）及び前々回（2017 年８月 30 日）と比較して、ゼッタ沢上流、ゆげ山、地獄釜の地熱域の状況に特段の変化はみられませんでした。昭和湖及びその周辺では、地熱域は引き続き確認されませんでした。

・地震や微動の発生状況（図８）

火山性地震及び火山性微動は観測されませんでした。

なお、栗駒山周辺では、「平成 20 年（2008 年）岩手・宮城内陸地震」の余震域内で地震活動が続いています。

・地殻変動の状況（図９、図 11）

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ（https://www.jma-net.go.jp/sendai/）や、気象庁ホームページ（https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成30年９月分）は平成30年10月９日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東北大学及び国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50ｍメッシュ（標高）」及び「電子地形図（タイル）」を使用しています（承認番号　平 29 情使、第 798 号）。

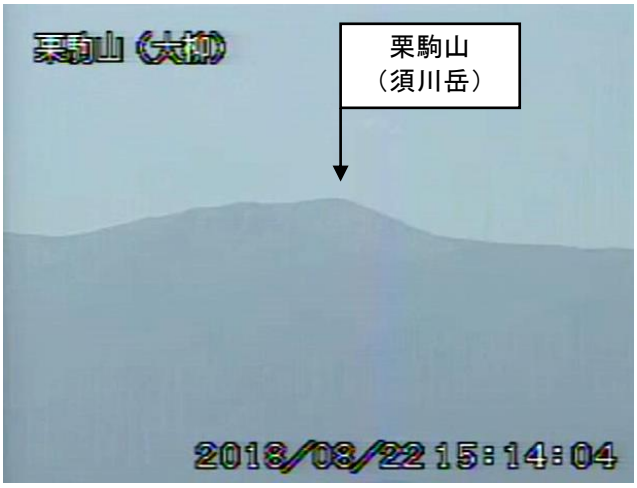

図１　栗駒山　山頂周辺の状況（８月 22 日）
・大柳（山頂の南東約 20km）に設置している監視カメラの映像です。

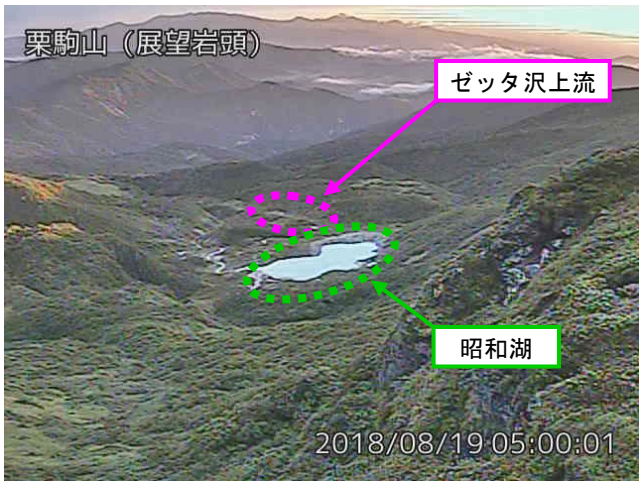

図２　栗駒山　昭和湖及びゼッタ沢上流周辺の状況（８月 19 日）
・展望岩頭（昭和湖の南南西約 900m）に設置している監視カメラの映像です。

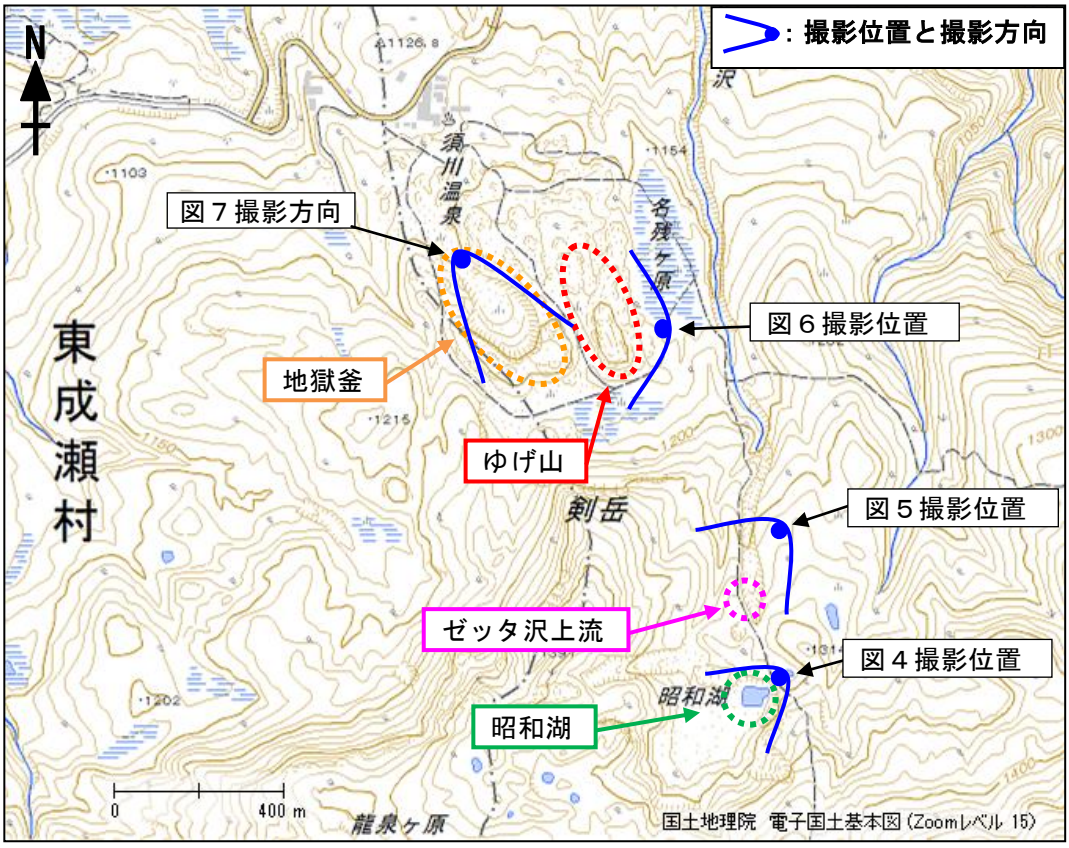

図３　栗駒山　昭和湖、ゼッタ沢上流、ゆげ山、地獄釜の写真と地表面温度分布[1)] 撮影位置及び撮影方向

1）赤外熱映像装置による。赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を感知して温度分布を測定する測器です。熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

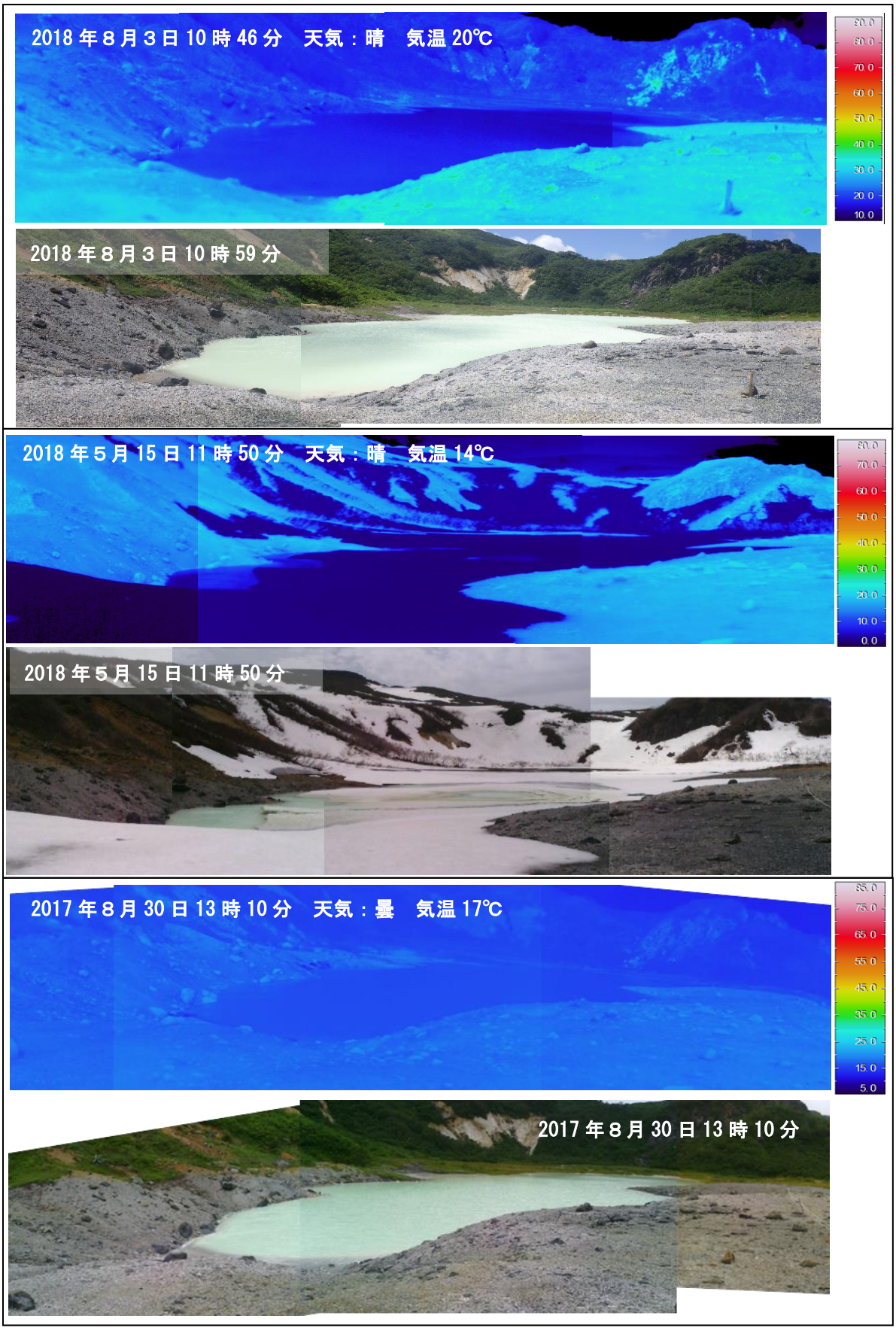

図４　栗駒山　北東から撮影した昭和湖の状況と地表面温度分布

・昭和湖及び湖岸に地熱域は認められません。
（※温度の高い部分は、岩等が日射により温められたことによるものと推定されます。）

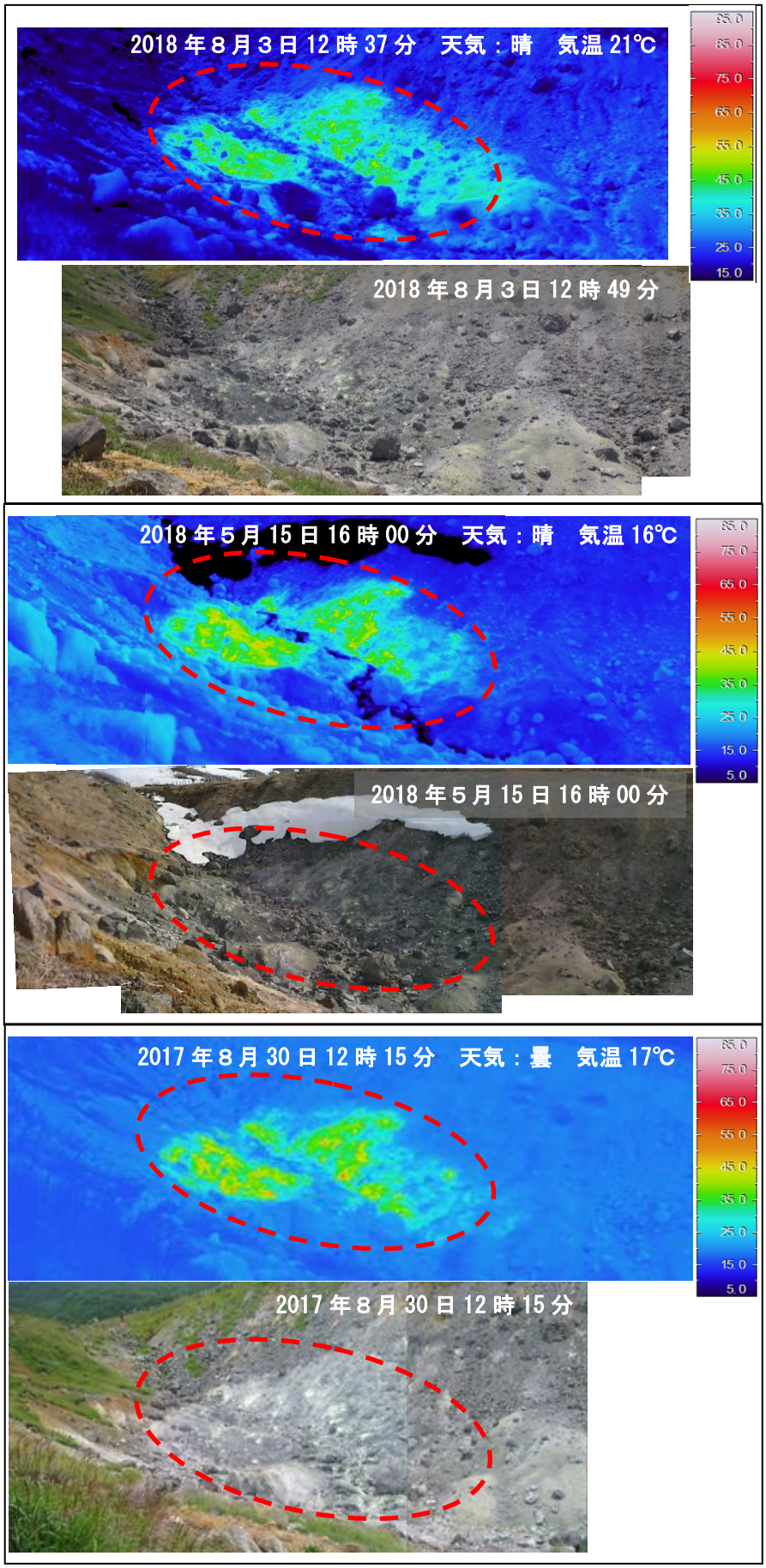

図５　栗駒山　北東から撮影したゼッタ沢上流の状況と地表面温度分布

・地熱域（赤破線）の状況に特段の変化はみられません。

（※地熱域以外で温度の高い部分は、岩等が日射により温められたことによるものと推定されます。）

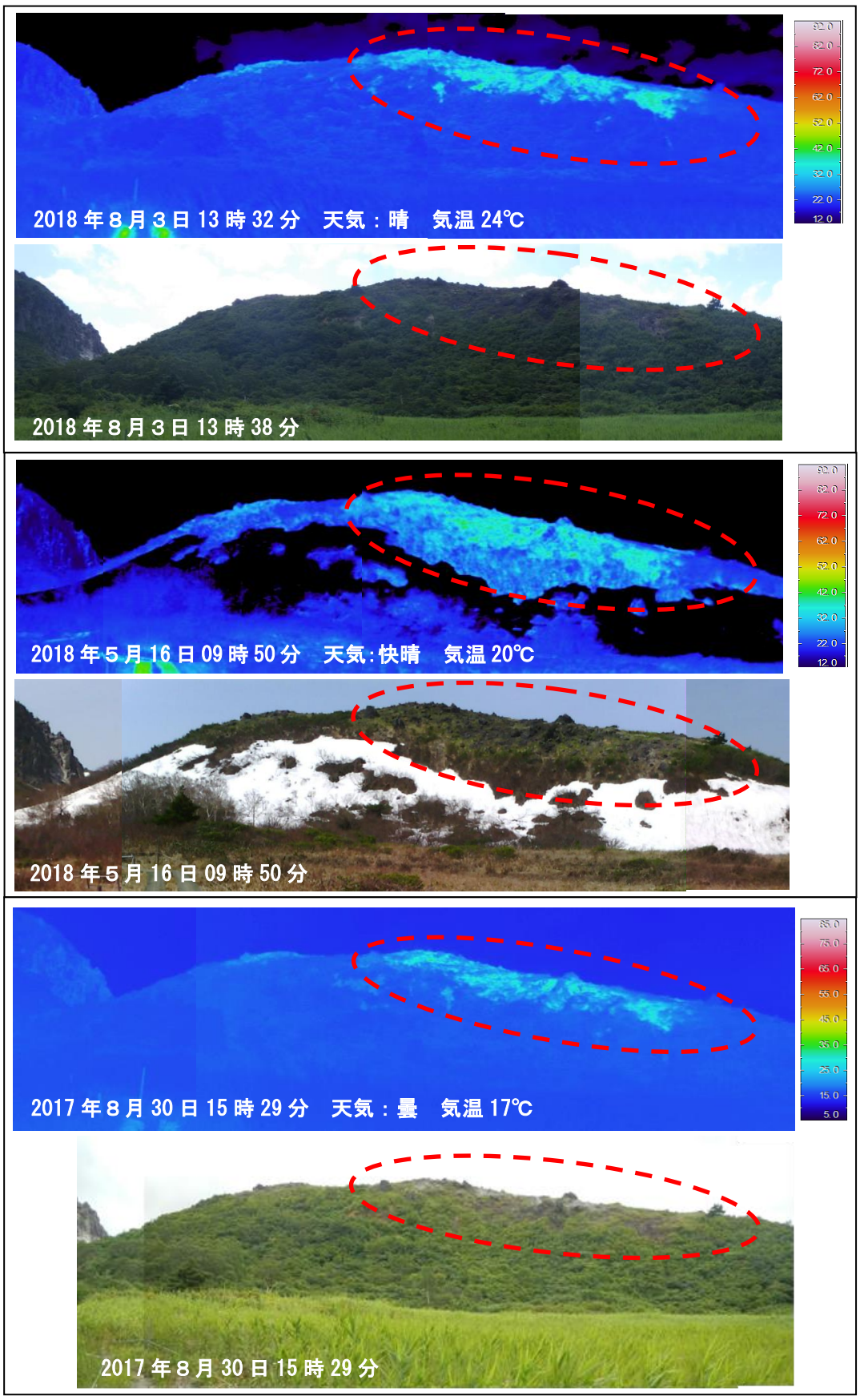

図６　栗駒山　東から撮影したゆげ山の状況と地表面温度分布

・地熱域（赤破線）の状況に特段の変化はみられません。

（※地熱域以外で温度の高い部分は、岩等が日射により温められたことによるものと推定されます。）

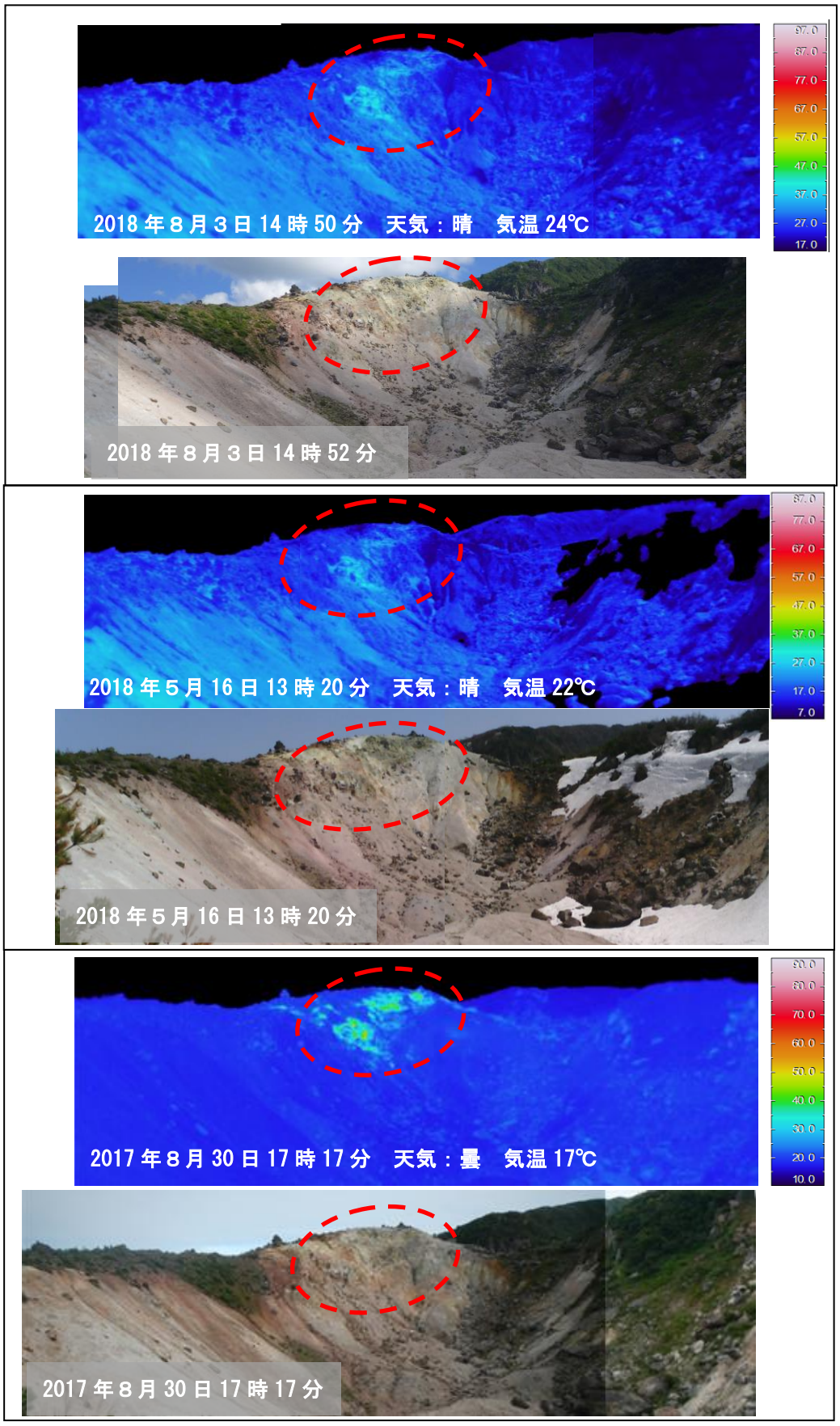

図７　栗駒山　北西から撮影した地獄釜の状況と地表面温度分布

・地熱域（赤破線）の状況に特段の変化はみられません。

（※地熱域以外で温度の高い部分は、岩等が日射により温められたことによるものと推定されます。）

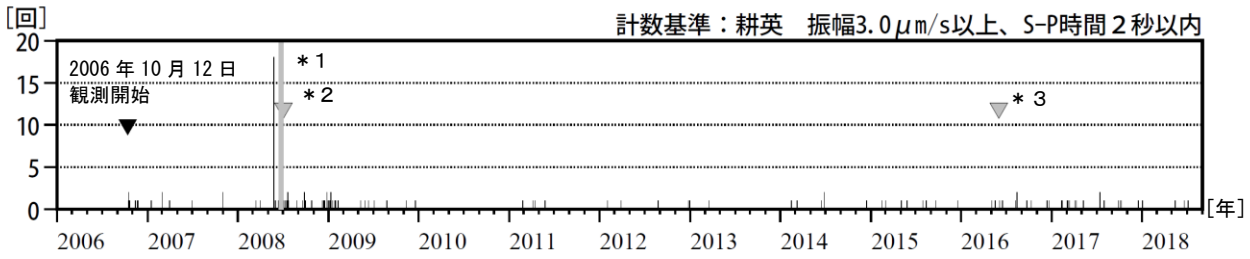

図８　栗駒山　日別地震回数（2006 年 10 月～2018 年８月）

・基準観測点の変更は次のとおりです。

観測開始　2006 年 10 月 12 日～旧耕英観測点

＊１　2008 年６月 14 日～７月２日 18 時（図の灰色部分）まで「平成 20 年（2008 年）岩手・宮城内陸地震」の影響により観測不能

＊２　2008 年７月２日～小安（おやす）観測点（2010 年 10 月８日まで）及び広域地震観測網

＊３　2016 年６月１日～耕英観測点

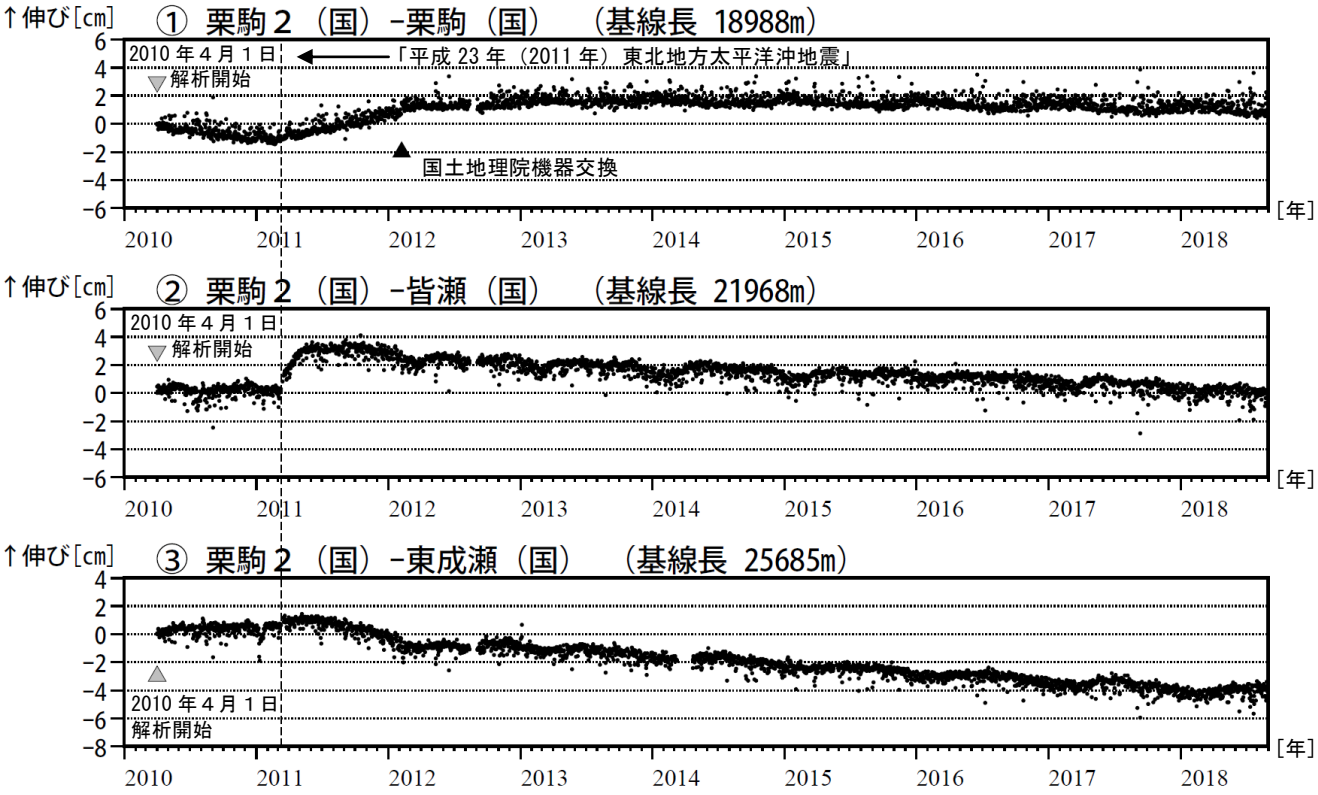

図９　栗駒山　GNSS[2)] 基線長変化図（2010 年４月～2018 年８月）

・「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」に伴うステップを補正しています。

・①～③は図 11 の GNSS 基線①～③に対応しています。

・グラフの空白部分は欠測を表しています。

・（国）は国土地理院の観測点を示します。

２）GNSS とは Global Navigation Satellite Systems の略称で、GPS をはじめとする衛星測位システム全般を示します。

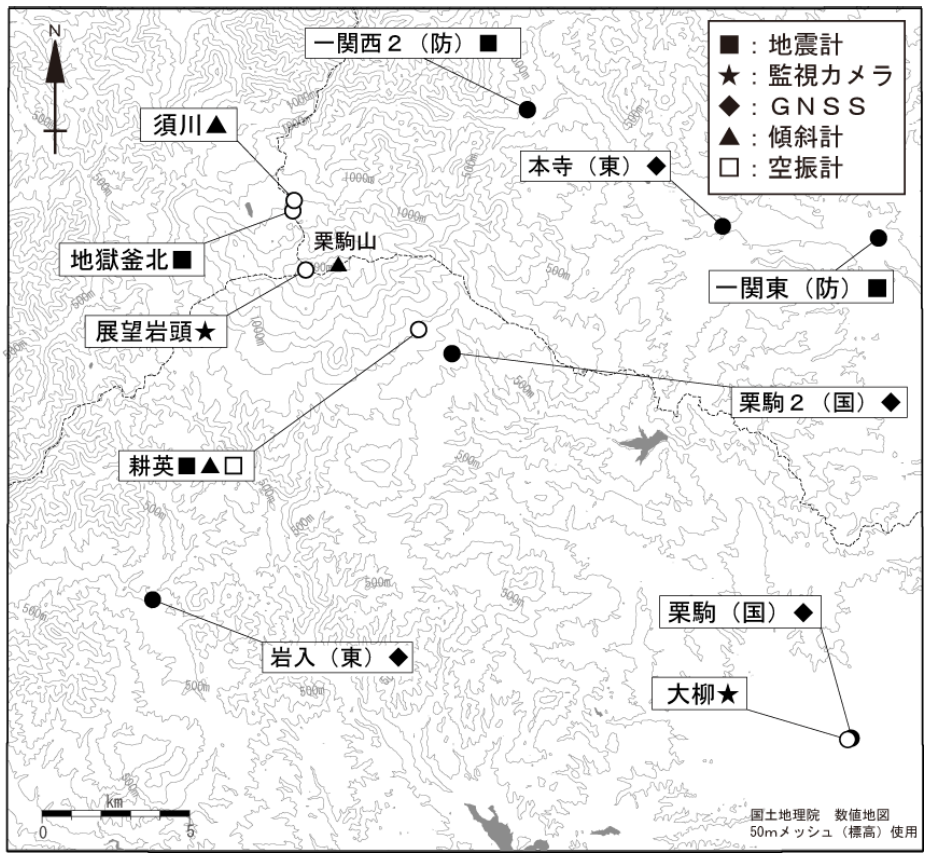

図 10　栗駒山　観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（国）：国土地理院　（東）：東北大学　（防）：防災科学技術研究所

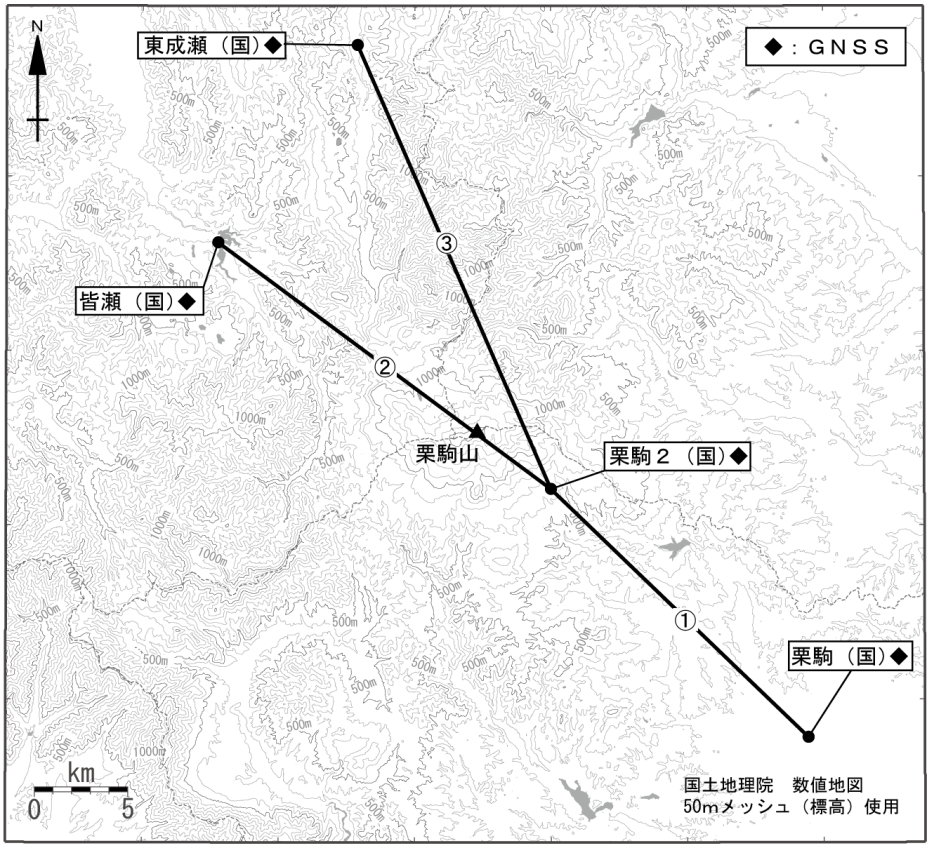

図 11　栗駒山　GNSS 観測基線図

小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（国）：国土地理院